

目次 (1)

戦 史 室

順次	年月日	番 号	件 名	発信者	宛 先
1	昭17.9.4 13.11 発 15.40 受	800参一電 99	第9飛行団派遣に因り報告	2FA 参謀長	次 長 岡 3FA
2	12.17 16.1655 発 26.2000 受	" 252	208F・16日10時99式双軽 爆撃機26機を以て北南出撃の件	"	次 長 飯 藤
3	12.23 22.1929 発 23.0600 受	" 2327	昭17.12.2FA管理に係る改変部 隊は12月30日編成(編成済)完結 15F 29F 77F 27F 31F 敵機撃墜27. 36機撃墜。40機撃墜 93.97.56.58機撃墜。敵機207機撃墜 敵機通信2隊、航空通信4隊。	2FA長	総 長 陸
4	昭18.5.25 発 24.1625 発 24.2000 受	" 3184	5月22日 8通信隊の編成完結 奉令に伴い当軍準備の内係上奉令 陸甲33号に依り8通信隊の編 制改正完結を5月31日とせられたく 報告す。	2FA 参謀長	6F長 岡本 陸
5	10.10 6.1805 発 2000 受	" 3471	軍令陸甲71号により下記部隊の編成 を10月5日完結せしむる報告 15FD 18F 18航空地団司令部 2航空隊 (2航空隊司令部)	2FA長 岡本	総 長 陸 岡本
6	10.15 11.46 発 13.00 受	" 268	800参一電 271部隊長は800作中甲33 号に拘り、77Fを今日日中に なくすべく努力を要し、(編成) に派遣し、敵軍司令部を指揮下 に置く。	2FA長 岡本	総 長 西 岡本 271部隊 77F
7	11.7 6.1627 発 1900 受	" 3333	軍令陸甲71号により下記部隊 の編成完結報告 48F (新設)、36F (1整備 隊) (新設) 54式重機銃大隊 (新設)	"	総 長 陸 岡本
8	11.19 12.05 発 14.30 受	800参一 北安電 3	800作中甲154号奉令(1911月) 772部隊長は飛行隊 を21日奉令(拘)により1FA を指揮下に入るとの件	"	次 長
9	12.1 11.49 発 14.30 受	800参一電 3582	軍令陸甲90号により下記部隊 11月1日により編成(編成済)は 11月30日完結せしむる報告 2航空隊司令部 (新設) 2. 3航空隊司令部 (編成済) 36航空通信隊 ("	満州800 部隊長	次 長

(23×15)

0000

0004

目次 (2)

綴帳	年月日	番号	件名	発信者	宛先
10.	08.18. 12-13 12-1641 2030英	800参-電 385	当軍12月11日におけの出勤可能機数 1. 戦斗部隊 二式戦斗機 47. 加藤隊機 124. 合計 199機 試爆機 28 2. 百式回復機 34. 99式機後 18 98式機 14. 97式機 30. 合計 96機	満州 800部隊 参謀長	次長
11.	12.20 1638 1830 晋英	" 3610.	軍令陸甲99号に依り下記部隊編制改正 本20日完結せしむる報告 第3航空情報	"	総長 大匠
12.	08.19. 1.4 1205 1410 晋英	800参電 4	当軍1月上旬(10日)現在におけの 出勤可能機数 1. 戦斗部隊 2. 試爆機 } 計 190機 99式機 39 100式機 101 } 3. 回復機 } 100式機 42 } 計 80機 98式機 10 } 97式機 13 } 97式機 15 }	"	総長 大匠 団長
13.	08.19. 1.3 1520 1930 晋英	800参-電 3135	軍令陸甲120号に依り下記部隊編制改正 (復帰)を1月31日完結せし むる報告 復帰部隊 9. 102. 103. 105. 106 飛行場 大隊. 21. ~ 27 航空隊 復帰部隊 10. 15 飛行場大隊. 15. 27 F. 55 F.C.S. 26. 40. 23 飛行場大隊 復帰部隊 15 飛行場大隊. 40 F.C.S. 51 F.C.S.	"	"
14.	2.6 1515 1939 晋英	" 3155	昭和18年軍令陸甲100号に依り下記部隊 の編制改正(復帰)を2月5日 完結せしむる報告 復帰部隊 30. 31 F. 29 飛行場大隊 復帰部隊 29 飛行場大隊 18 飛行場大隊 18 飛行場大隊	"	総長 大匠
15.	2.6 1445 1955 晋英	" 3154	軍令陸甲71号に依り編制改正完結報告 第2航空隊/教育隊(2中隊 3中隊)編制 完結	"	"

0000

0005

目次 (4)

綴順	年月日	番号	件名	発信者	宛先
23	18.19. 2.23 1000番 1410程	800番-電 167	70F (2式戦闘機 20機) 0800 在樹を出發.	滿州800 部隊務課長	次長 防務課長 1FA
25	" 2.26 25.2111番 26.0030程	" 187	輕便部隊は空中部隊の主力を以て24日 夜25日滿州に到着内地に輕便隊 12FR機、11F機、機油機、燃料機 1. (800部隊輸送機(MC))に到 0900 新隊を 芝川に到着.	"	次長 本
24	2.28 25.2110番 27.1950程	" 187 (前電と取換)	(前電と取換) 1. 前電(通) 2. 11Fの機油機(5) 97輸送機に2機 芝川に向ふ 3. 204F機は6道協和飛行隊(5機) 26幕夫 隊 27日 改年泊機 柏に向ふ	"	次長 本 1FA
26	3.1 1010番 1258程	" 3250	昭和18年軍令陸甲79号による、新機空 通信隊は 2月25日 備隊一中隊、機油 通信隊 備隊一中隊の件報告	滿州 800部隊	次長 大區
26	3.1 1025番 1105程	" 3249	昭和18年軍令陸甲120号による下記部隊 の編制改正を 2月29日 完結し付報告 30. 31. 48F. 66Fcs. 29. 54. 56. 97 芝川物大隊	2FA長	" "
27	3.6 1110番 1220程	" 3274	昭和18年軍令陸甲120号による下記部隊 の編制改正を 3月5日 完結し付報告 29F.	800 新隊長	"
28	3.12 11.190	" 3106	昭和18年軍令陸甲120号による下記部隊の編 制改正を 3月10日 完結し付報告. 25 重機隊 (16615416) (遼陽) 26 " (16618 ") (錦州) 27 " (16619 ") (興城) 前下記部隊の運用番号、駐屯地を以て 28 101 重機隊 (15312機) (大石橋) 23 重機隊 (15313 ") (錦中) 24 " (15354 ") (盤石城)	2FA長	"
29	3.13 1036番 1900程	" 231	当第3月上旬(3月10日現在)出動可能 機数 143機 10式 2機 20式(8) 1式 (19) 2機 79式 機油機(14) 燃料機(31) 28式 機油機(11) 合計 143機 (142機 2機 5機)	滿州800部隊 務課長	次長
30	3.20 19.1431番 19.1150程	" 3343	昭和18年軍令陸甲20号による2FA長管理 に備へて編成(備隊改正)部隊、番号完結 報告。編隊改正一ノ部定地区30機(右機) 2. 11F時部隊一44 利協大隊(竹簾) 機油機 325 完結し付.	滿州 800部隊	次長 大區

0000

0007

目次 (5)

戦史室

順	年月日	番号	件名	発信者	宛先
31	1942 03.25 0115 発 0040 報	800巻一覽 3399	昭和19年軍令陸甲25号による2FAの 管理小隊の編成(仰制改正)部隊の編成 (仰制改正)の手配、完結報告。 1. 仰制改正部隊 第7.8.9.10.11.12 野戦航空修理隊 第7.8.9.10.11.12 野戦航空補給隊 以上12隊、3月25日第2口完結 2. 113飛行隊2中隊 (1) 野戦航空修理隊第7.8.9.10.11.12 第14 野戦航空修理隊第2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12 独立整備隊、19 野戦航空修理隊第1.2 独立整備隊、21 野戦航空修理隊第1.2 独立整備隊、24 野戦航空修理隊第1隊 以上3月15日第2.25日完結。 (2) 16 野戦航空修理隊第2.4.5.6.7.8.9.10.11.12 野戦航空修理隊第1隊 以上4月10日第5日完結。 (3) 18 野戦航空修理隊、3.4 独立整備隊、 19 野戦航空修理隊、7 独立整備隊、 22 野戦航空修理隊、1 整備隊、2 整備隊 25 野戦航空修理隊、1 隊、5 飛行 隊軍航空隊、2 野戦航空修理隊第1.2隊 以上5月10日第5日完結	海州800 神隊長	佐 長 陸.
32	3.28 0350 発 1950 報	" 3419	昭和19年軍令陸甲25号による下記部隊 3月25日 仰制改正の件報告。 第14 野戦航空修理隊第7~9 独立整備隊 " 16 " 42隊(4) 2.2 整備隊 " 19 " 19 独立整備隊 " 21 " 1.2 独立整備隊 " 24 " 1隊	"	経 長 陸 本
33	4.1 1509 発 1950 報	" 3462	昭和19年軍令陸甲24号による3月31日 仰制(仰制改正)の完結報告 1. 24 隊 第44.50 飛行隊大隊 2. 仰制改正の件報告 第19 航空地団司令部	"	佐 長
34	4.1 1520 発 1800 報	" 3461	昭和19年軍令陸甲25号による2FAの 改正完結報告 1. 7.9.10 野戦航空補給隊 第7.9.10 野戦航空補給隊 第8.11 野戦 航空修理隊第1.2 隊 12 野戦航空修理隊第2 独立整備 隊/1 隊 2. 7.9.10 野戦航空補給隊	"	"

(23×15)

0000

0008

綴順	年月日	番 号	件 名	発信者	宛 先
41	48 19.5.18 1930 報 2207 報	800人2 415	4FD司令中 請求 18日 天候不良 月 右 出 発 せ し 一 派 撤 去 せ し 事 出 し	海州800中 隊 参謀長	次 長 陸 軍 第 4 師 第 4 中 隊
42	5.18 17.1925 報 18.0310 報	800 報-電 409	4FDの参謀長以下幕僚、各部の参 謀 18日。FD長、幕僚の一部は 21日 陸 本 部 を 去 る 事 21日~24日 同 の 地 に 到 着 の 事	"	次 長 陸 軍 第 4 師 第 4 中 隊
43	5.21 20.2147 報 21.0055 報	" 427	4FDの参謀長以下幕僚の各部主力 は 昨 19日 陸 本 部 を、次 日 20日 新 子 出 発 せ し、FD長 及 幕僚の一 部 は 明 21日 陸 本 部 を 去 る 事	"	次 長
44	5.23 22.1825 報 2310 報	" 436	1. 4FD 長 22日 新 子 出 発 せ し 目的地 2. 2FD 司令 一部 21日 陸 本 部 を 去 る 事 目的地へ 主力は 26日 陸 本 部 を 去 る 事 3. 10FR 司令 一部 21日 陸 本 部 を 去 る 事 目的地へ 主力は 25日 陸 本 部 を 去 る 事	"	次 長
45	5.27 26.2140 報 2.225 報	" 447	10FR 司令、27日 陸 本 部 を 去 る 事 (系列 司令部 26日 陸 本 部 を 去 る 事 27日 上海-嘉善 28日 嘉善 29日 目的地 (27日 = 26日 陸 本 部 を 去 る 事 27日 陸 本 部 を 去 る 事 28日 (26日) 上海-嘉善 29日 陸 本 部 を 去 る 事 30日 目的地	"	"
46	5.28 21.1925 報 2050 報	" 448	2FD 司令 27日 陸 本 部 を 去 る 事 27日 陸 本 部 を 去 る 事 28日 陸 本 部 を 去 る 事 28日 陸 本 部 を 去 る 事 29日 陸 本 部 を 去 る 事 29日 陸 本 部 を 去 る 事 30日 陸 本 部 を 去 る 事	"	次 長
47	6.1 1114 報 1515 報	" 3777	陸 軍 第 19 師 第 4 旅 団 第 3 中 隊 による 下 地 部隊 5.21 編 成 完 結 報 告 オ 4.5 隊 隊 隊 隊 オ 4.2 隊 隊 隊 隊	2FA 長	総 長 大 臣
48	6.4 3.2030 報 4.1000 報	" 460	13 死 行 団 第 1 隊 第 1 中 隊 上 の 結 果 当 算 計 画 は 21 日 死 行 団 第 1 隊 第 1 中 隊 下 地 部隊 編 成 完 結 報 告 による 事 6.12 日 陸 本 部 を 去 る 事 (9 日) を 以 て 後 方 部隊 援助 部隊 隊	海州800 中 隊 参謀長	次 長
49	6.7 6.1857 報 9.0615 報	" 3777	第 19 師 第 4 旅 団 第 3 中 隊 による 第 5 隊 隊 隊 隊 の 結 果 5 月 31 日 陸 本 部 を 去 る 事 編 成 完 結 6 月 5 日 陸 本 部 を 去 る 事	2FA 長	総 長 大 臣

(23×15)

0010

目次 (8)

綴帳	年月日	巻号	件名	発信者	総覧
50	08.19 6.10 10.2100 11.1315 投	800巻-電 3813	800号軍令陸甲25号より南方戦 用航空機部隊の委任状 1. 3月完結の旨 2. 5月完結の旨 3. 210部隊航空機修理廠 外 4. 250部隊航空機修理廠 外 5. 29F 航空機修理廠 外	満州800 部隊参謀長	次長
51	9.22 1030 票 1635 投	" 3852	1. 軍令陸甲61号(陸軍航空2114) 210 部隊 2. 210部隊航空機修理廠 外 3. 250部隊航空機修理廠 外	満州800 部隊参謀長	総長 大佐
52	6.30 1030 票 1520 投	" 570	29F 航空機修理廠に新田平助飛行場の使 用不可続に付、2式改修機は既 に修理場より使用不可と判断 した事	満州800 部隊参謀長	次官
53	7.1 6.30, 1802 票 2110 投	" 3877	800号軍令陸甲61号より210部隊航空 機修理廠の委任状 6月30日 完結	2FA 長	総長
54	7.9 1320 票 1655 投	" 3929	軍令陸甲24号より入新町飛行場の修 理 7月15日 完結 7月15日 完結の件報 告 7/14 参謀長 大佐 7/14	"	"
55	7.21 1133 票 1555 投	" 3996	軍令陸甲34号より210部隊、141飛行 場大隊 210 部隊、軍令陸甲61号より 210部隊、161飛行場大隊 20日 完結の件報告	"	総長 大佐
56	8.1 231, 2048 票 81, 0040 投	" 673	70F 全力 鞍山に前進せしめら れ	"	総長
57	8.2 1300 票 2010 投	" 3077	800号軍令陸甲34号(12月) 210 部隊航空機修理廠 7月31日 完結	"	"
58	8.8 1600 票 2200 投	" 3112	軍令陸甲72号より当軍管区に付 修成(修成隊正) 213 部隊西飛行場(16663) 7月15日 完結 214 部隊(16664) 7月15日 完結 210 飛行場大隊 8.20 完結 210 飛行場大隊 錦州 9.30 完結	満州800 部隊参謀長	次長

0011

綴帳	年月日	番号	件名	発信者	署名
59	昭和19年8月9日 8.8 1830 齊 9.0550 程	800巻一電 3111	軍令陸甲93号による編成(编制改正) 完信報告(昭和19.8.15 完信8.27) 独立飛行第25中隊(16682) 鞍山 " 41 " (16683) 大連 " 44 航空地区司令部(16643) 海拉尔 " 45 " (16647) 佳木斯 " 177 飛行場大隊 (16648) 孫家 " 180 " (16649) 八面通 " 181 " (16655) 不道 " 182 " (16656) 東寧城 " 183 " (16657) 龍鎮 " 10 航空電信隊(16658) 海拉尔	2FA長	総長 大臣
60	8.21 1510 齊 1825 程	" 3176	昭和19年軍令陸甲94号による編成 (编制改正) 完信(8.20) " 101 飛行場司令部 " 14 飛行場大隊	"	総長
61	8.22 21.1600 齊 2100 程	" 3197	昭和19年軍令陸甲93号による編成完 信報告 8.20 完信 独立飛行第25.41中隊 " 44.45 航空地区司令部 " 177~183 飛行場大隊 " 10 航空電信隊	"	"
62	8.27 26.1712 齊 2000 程	" 809	陸軍密令第402号に依り104Fは 8月26日1030日港口通過後800 部隊長の管理下に入れり。	800部隊 参謀長	次長
63	8.29 28.1522 齊 2035 程	" 3232	軍令陸甲114号による独立飛行第75 飛行場司令官の编制改正 8.25 着手 8.28 完信 通符号16610. 編成地鞍山。	2FA長	総長 大臣
64	9.16 15.1845 齊 2210 程	800巻電 3309	昭和19年軍令陸甲94号による " 13 飛行場大隊の編成完了 完信の件報告。	滿州第800 部隊長	総長
65	10.6 1230 齊 1536 程	800巻電 3353	昭和19年軍令陸甲94号による " 14 飛行場大隊(残余を増加 編成完信)	2FA長	"
66	10.24 1155 齊 1455 程	" 3396	昭和19年軍令陸甲136号による編成 (编制改正)部隊の編成報告完信の 件完信(10.25 着手 10.27 完信) " 44 航空地区司令部(鞍山) " 45 " (佳木斯) " 50 " (佳木斯) " 176 飛行場大隊(佳木斯) " 177 " (湖庫管)	滿州第800 部隊参謀長	"

(23×15)

8100

0012

目次 (10)

綴り	年月日	番号	件名	発信者	宛先
67	1819.11.6 1040号	800巻-宛 3432	1819年累年院甲片94号以上の件 宛絡の件 (11月5日宛絡) 始末 片13巻宛宛行際 (宛絡の件)	ZPA長	局長
	11.6 1207号 1540号	" 26			

18100

0013